

3学期の出来事

地域事業所協力による

進路学習

3月11日(金)、鏑の清流口(総合的な探究の時間)の授業で、下仁田町の総合建設業の上原建設株式会社と相馬一喜様に「地域の大人から話を聞こう」をテーマに進路に関するお話をしていただきました。



この授業では、実際に経験した高校卒業後から上原建設(株)へ就職するまでの波乱万丈の人生について話していただきました。また、高校生のうちにやっておいたほうが良いことや後悔しない進路選択のポイントも教えていただきました。

授業の後半では、マインドマップ作成をし、自分を軸に自分の好きなこと、今できること、まわりにいる人、自分のあゆみの4つの事柄から、自分について分析をしました。自分の強みや弱みを考えるのはとても難しい



ことですが、今回行ったことは進路を考えるうえでとても参考になると思いました。この授業を通して学んだことを、今後の進路選択やその先の将来に生かしていきたいです。

就職ガイダンス

3月4日(金)に2年生対象の就職ガイダンスがありました。キャリアアコンサルタントの井上先生と荒木先生が来校し、進路に関する大切なことを教えてくださいました。

午前は、人事採用者の立場からの面接のポイントやどのような人材が企業に必要なのかを教えてくださいました。その後には班を作り、班の中で社長と書記を選び、会社の採用担当の立場から必要な人材を考えるロールプレイをしました。どの人材を採用するのかを考えることの難しさや、班員たちと筋道を立てて話をするこの大変さがわかりました。

午後は、面接の指導をしていただきました。特に自分の長所や短所、自己PRすることが難しいと実感しました。本番の試験でしっかりできるように練習を積み重ねていきたいです。



面接練習の様子

進路選択へ向けて

私たちは、鏑の清流口(総合的な探究の時間)の授業で、進路のことについて学習をしました。はじめに、下仁田高校を卒業した先輩方の進路先や就職先について調べ、どのような進路があるのかを知りました。次に、自分たちが希望する進路のことを調べました。

また、就職試験、進学試験で必ずある「面接」の練習をしました。面接は、高校入試のときからしばらくしていなかったため、先生方に面接練習をしていただきましたが、とても緊張しました。3年生になり、6月から進路選択や活動がはじまるので、私たち全員が進学や就職できるよ

うに頑張りたいと思います。す。



今回の進路学習の感想

Aさん
実際に進路学習をして、就職することの厳しさを知りました。

Bさん
進学するためには、入学金や授業料など、たくさんお金が必要だとわかりました。

Cさん
私は情報系の専門学校に進学を考えています。しかし、簡単にいくわけがないと思います。

編集後記

日頃より本校の教育活動に多大なご支援とご理解をいただき、ありがとうございます。地域の方々に本校の特色や魅力を広くアピールしたいと考え、「下高通信かぶら」を発行しております。

4月から新年度が始まり、高校教育としては学習指導要領が改訂され、それぞれの教科の見方・考え方を生かした教育活動を行うことが求められます。生徒の個性、発想力、創造性を生かした新しい教育が始まるようにしています。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも、充実した教育活動が行えるよう、教職員一同努めています。

最後に、3学期号の下高通信かぶらは、代替わりし、2年生のビジネスコースの生徒が担当しました。ご一読していただければ幸いです。

(授業担当者より)



1年間
ありがとうございました